



交通安全イベントで自衛隊をPR



江東出張所は今後も地域に密着した募集・広報活動を実施するとともに、関係部隊等と連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集活動の業務に繋げていくとしている。

このイベントは幅広い世代の方への交通安全の呼びかけや地域との連携強化・地域振興への貢献を目的とし、自衛隊のほか警視庁・消防庁も協力して開催されたものであり、自衛隊の1/2tトラックの前には多くの親子連れ等が足を止め、車両の説明に聞き入っていた。広報官から災害派遣にも使用されていることを聞いた来場者は、運転席に座り車高の高さを体感したり、トラックや東京地本のマスケットキャラクター「トウチ君」と一緒に記念撮影を楽しんでいた。

自衛隊東京地方協力本部江東出張所（所長 飯野3海佐）は2月23日及び24日の2日間、JAF（一般社団法人日本自動車連盟）が主催し、「アーバンドック ららぽーと豊洲」で開催された「はたらく車がやってくる！JAF交通安全イベント in 豊洲」において広報活動を実施した。



大学で合同企業説明会に参加



自衛隊東京地方協力本部江東出張所（所長 飯野3海佐）は、東京海洋大学において開催された合同企業説明会に参加した。

これは東京海洋大学キャリア支援センターが主催し、3月2日～6日の期間中、約120社が参加して、来年3月に卒業予定の学生等を対象にそれぞれの業務内容や募集職種等に関する説明を行ったものである。

江東出張所の個別面談ブースでは、広報官が防衛省・自衛隊の任務、自衛官の勤務内容、入隊後のキャリアプラン、一般幹部候補生及び航空学生試験等について学生に説明した。

多数の職種が存在することに多くの学生が関心をもった様子で「自分に合った仕事が見つけられそう」、「福利厚生が充実している」等の感想があった。

江東出張所は今後も学校を通じた募集対象者等に対する説明会や各自衛隊の広報イベントへの案内などを適宜実施して自衛隊への理解を深化させるとともに、一人でも多くの方に自衛隊に興味をもってもらい募集基盤の強化及び拡大に繋げていくとしている。